

第九回全国自治体議会改革推進シンポジウム研修報告書

八女市議会議員 栗原吉平

令和7年3月26日～27日

三重県四日市市「都ホテル四日市」

研修テーマ「議会改革の推進と女性や若者等多様な人材の活躍」

※ 基調講演 駒澤大学名誉教授 大山玲子氏

講演会まとめ

わが国全体の人口構造は大きく変化し大都市圏を含め、全国的に人口の減少と高齢化が進行する。地方公共団体の経営資源がますます制約される一方、住民のニーズや地域課題は多様化、複雑化し地域において合意形成が困難な課題が増大することが見込まれるが、そのような中資源制約を乗り越え、持続可能で個性豊かな地域社会を形成していくためには、地域の多様な民意を集約し、広い見地から個々の住民の利害や立場の違いを包括する地域社会のあり方を議論する議会の役割がより重要となる。

地域社会においては、行政の他、コミュニティ組織やNPO、企業など多様な主体が、組織の枠を乗り越えて、サービスの提供や課題解決の担い手として、より一層関わっていくことが必要であり、これらの多様な主体の参画を得る

観点からも、議会の役割は重要である。

しかしながら、課題も多い、地方制度調査会において指摘されたように、議会議員の構成は、住民の構成と比較して女性や 60 歳未満の割合が極めて低いなど、多様性を欠く状況が続いている。近年の地方議会議員選挙において投票率の低下と無投票当選の増加傾向は、住民の議会に対する関心の低下を指摘せざるをえない。とりわけ、女性議員が少ない議会や、平均年齢が高い議会において無投票当選となる割合が高い傾向にあり、議会が性別や年齢構成の面で多様性を欠いていることは、繰り返される一部議員の不適切な行為と相まって、住民の議会に対する関心の低下、住民から見た議会の魅力を失っていると考えさせられる。そのため、議会がその重要な役割と、責任を十分に果たすよう、それぞれの立場において、その重い重責や責任を自覚することが何より重要である。

所感 一般論として議会の役割については、住民サービスの向上と住みやすい地域構成がポイントであり、どうしたら個々の議員の施策が発揮できるのか不透明である。では議会として統制のとれた施策が出来るのか、これもわからない。出来ることから賛同得ながら始めることの必要性を感じた。

議員のなり手不足は、報酬だけでなく、古い選挙制度から従来の方法にとられない、SNS などの選挙のあり方が変わってくると信じている。

若い議員や、女性議員の少なさを解消するためには、簡素化した選挙運動も必要だし、八女市の若い市長からの対象者に対するメッセージも大きな役割だと思いました。

※ その他、各議会の改革について、一人 10 分間の講演

富山県議会議員 奥野詠子氏

岩手県議会議員 吉田敬子氏

登別市議会議長 辻 弘之氏

四日市市議会議員 辻 裕登氏

三重県議会議長 稲垣 昭義氏

※ 三重県議会の取り組みについて